

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月25日

計画の名称	湯之元駅周辺のバリアフリー化と温泉街のにぎわい復活												
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	日置市												
計画の目標	湯之元駅周辺のバリアフリー化と良好な都市基盤や宅地整備により、既存の医療施設や温泉施設へのアクセスを向上させ、魅力あるまちづくりと温泉街のにぎわいを復活させる。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,000	A	2,000	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(H32末)
1	駅周辺のバリアフリー化により駅へのアクセスが向上した宅地の割合を33%(H28)から、67%(H32)へ拡大させる 湯之元駅へのアクセスが向上した宅地(6m以上の道路に接する宅地)の割合を算出する。 (アクセス向上の割合) = (アクセスが向上した宅地(6m以上の道路に接する宅地)の面積) / (宅地の面積)	33%	58%	67%
2	良好な住環境の整備と温泉街のにぎわいを復活させるために、住宅・店舗等の更新(新規含む)を28%促進させる。 湯之元地区の住宅店舗等の更新率を算出する。 (住宅・店舗等の更新割合) = (建築物新築等許可申請のあった住宅・店舗等の戸数 / 既存の住宅・店舗等の戸数)	0%	17%	28%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	日置市	直接	日置市	区画	改築	湯之元第一地区 ((都) 湯之元赤崎線他)	区画整理 Δ=25.5ha	日置市	■	■	■	■	■	2,000		未策定	
												小計						2,000		
										合計							2,000			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>日置市東市来支所産業建設課都市計画係が担当となって事後評価を行う。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和4年度</p>	
	<p>公表の方法</p> <p>鹿児島県日置市のホームページで公表</p>	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>【指標①】最終目標値を下回る結果となった。 当整備期間に3.39ha(約0.68ha/年)の宅地が整備され、最終目標値には届かない状況ではあったが、駅へのアクセス向上と共に住環境及び町の活性化の向上が図られていると考える。 【指標②】最終目標値を下回る結果となった。 当整備期間に約8件/年の建築物新築等許可が申請されており、最終目標値には届かない状況ではあったが、良好な住環境整備が図られていると考える。</p>	
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備について、これまでに全体計画の20%、当整備期間で16%、合わせて36%の歩道が整備され、特に交通量の多い駅周辺の歩道は概ね完了したことから、歩行者の安全性向上を図ることができていると考える。 ・老朽化住宅の建替えにより建物の耐震性が上がり、地区の防災性向上に寄与するものであった。 	

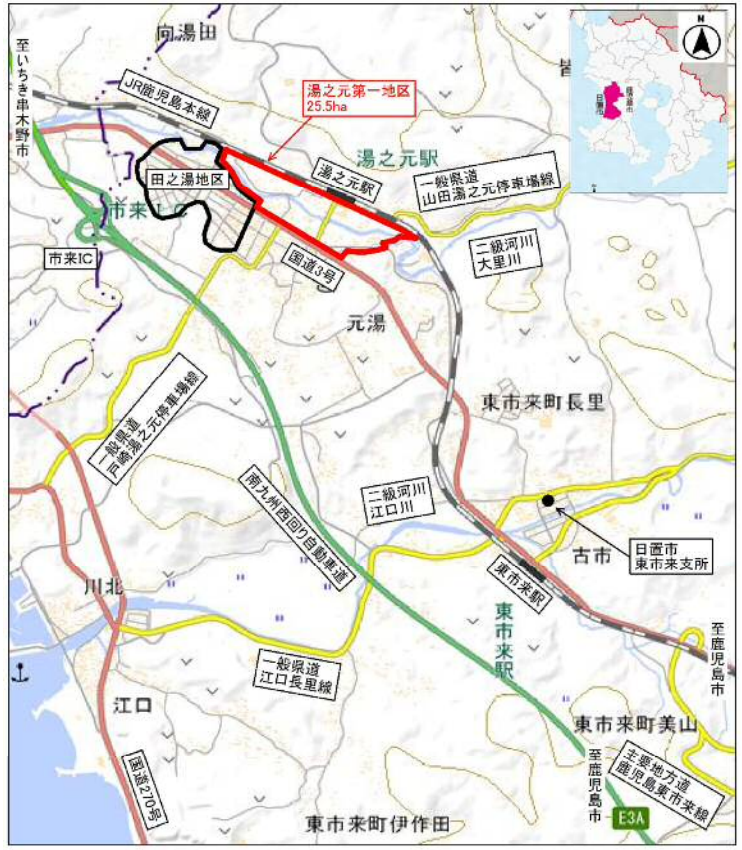
○特記事項（今後の方針等）

引き続き、土地区画整理事業を実施し、湯之元駅周辺のバリアフリー化と良好な都市基盤や宅地整備により、既存の医療施設や温泉施設へのアクセスを向上させ、魅力あるまちづくりと温泉街のにぎわい復活を目指す。
また、区画整理区域内に対する通学路の安全対策が必要な箇所の対策を実施（主に道路の歩車分離等などにより歩行者の安全・安心な通行の確保を図る）し、児童生徒等の安全確保を行い、安心安全なまちづくりを目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	67%
	最終実績値	57%
湯之元駅へのアクセス向上した宅地の割合		
大型物件補償や橋梁工事の事業費が当初見込みより多く必要となったことから、宅地や道路の整備に遅れが生じたため、目標値と実績値に差が出たと考えられる。		
2	最終目標値	28%
	最終実績値	15%
事業地区内の住宅店舗等更新率		
当整備期間内に住宅店舗等の建設が可能な土地が全体計画の29%整備されたが、土地所有者の意向により住宅店舗等の建設が予定通りに進められていなかったため、地域の発展及び活性化のために、土地所有者へ土地の利用増進について働きかけている状況である。		

計画の名称	湯之元駅周辺における区画整理による安心・安全なまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	日置市

全体位置図



都市計画道路位置図

